

5月12日に開催されたワールドトライアスロンシリーズ（WTS）横浜では、自身の武器であるランで独走。ライバルを寄せ付けない走りで見事同大会での3連覇を飾り、WTSシリーズリーダーとしても独走するマリオ・モーラ。世界チャンピオンに輝いた2017年に続き、今季も好調な滑り出しを見せている。年々高速化が進むトライアスロン界においても、ピカイチの走力を誇る「世界最速トライアスリート」。そんな彼のトレーニングの良きパートナーとなっているのがJVCのワイヤレスイヤホン。主にランのトレーニング中に愛用しているという。「耳へのフィット感もサウンドも、そしてデザインも良いのですごく気に入

たとえ走りたくない朝でも音楽が僕をモチベートしてくれる

つて。フィット感には特に大事だよ。動いたり外れたりしないので、その分ランそのものにフォーカスできるし、音楽も楽しめるから」さらに気に入っているポイントを聞くと、その携帯性の良さを挙げた。「世界を転戦する僕たちトライアスリートはとにかく旅が多い。そんな中で、持ち物ができるだけコンパクトで軽量化ほうがいい。HA-ET900BTは以前のモデルよりグッとコンパクトになってすごく助かっている」現在愛用しているのはイエロー。理由は「バッグの中で見つけやすいから」だそう。取材中、日本限定色のレッドとブルーを見て「レッドもいいなあ。日本のユーザーは色の選択肢が多



マリオ・モーラ

ITU（国際トライアスロン連合）サーキットのトップランカーとして君臨する、トライアスリート版スペイン無敵艦隊のエース。オリンピックディスタンス（スイム1500m/バイク40km/ラン10km）のランで前人未踏の28分台を叩き出すなど、「世界最速」の名をほしいままにしている（※プロフィール詳細はP68～69インタビュー参照）

くてうらやましいね」とひとこと。使うシーンはトレーニング中が多い。「朝ランでは特によく使ってる。起きてすぐトレーニングモードになれるし、ランニングが楽しくなるよね。たまに今日はやりたくないな〜ってうとうともあるけど、アプテンポの音楽を聴きながらシューズをはいて外に出れば走り出すことができる。好きな音楽？こだわりはそんなにないけど、ポップやロック、ダンスミュージックをまんべんなく聴く感じかな。リズムのある音楽が好きだね。僕は当日レース会場で音楽を聴くことはしないけど、部屋を出る前とか、レース後にリラクセスするために音楽を聴くことはあるよ」

愛用する最新型GPSウォッチに音楽を入れて使っている。「シーンやトレーニング内容に応じていくつかプレイリストを作っておいて、シチュエーション別に使い分けてる。GPSウォッチに音楽を入れられるようになってから、格段に自由度が高まったよね。以前はスマートフォンから飛ばしてたから、トレッドミルのときぐらいいしか聴けなかったけど、今はどこでも聴けて便利。疲労がたまってる気が出ないときはもちろんある。そんなとき、モチベーションをブーストしてくれるのが音楽。苦しいトレーニングも短く感じさせてくれるしね」

世界最速トライアスリートが愛する、ワイヤレスイヤホン。

Mario Mola

AE WIRELESS



AEワイヤレスがアスリートに愛される理由

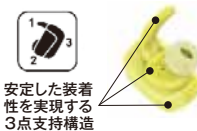
水洗いもできる防水性

濡れても安心なIPX5防水仕様なので、長時間トレーニングでの汗や雨などにも強い。使用後はそのまま水道水で水洗いできる。



動きに強いフィット感

動きに強い3点支持構造で、ランやインドアバイクでのハードな練習でも外れにくい設計。上下の揺れに強い縦型デザインで、装着部分は安定性の高いオーバル形状。



完全ワイヤレス

コードが完全ないワイヤレスイヤホン。トレーニング中にコードが絡まったり、身体に触れるストレスもなく、タッチノイズの心配もない。



完全ワイヤレス

HA-ET900BT

カラー/B(ブラック)、A(ブルー)、Y(イエロー)、R(レッド) 付属品/軽量充電ケース(35g)、クリップ付キャリングポーチ、イヤピースS・M・L [標準・低低音(周囲の音が聞こえる)タイプ] 各2。価格/オープンプライス



軽量充電ケース

本体は最大3時間の連続再生が可能(使用条件による)だが、この充電ケースで2回フル充電できるので、合計最大9時間使用できる。

クリップ付キャリングポーチ



[標準タイプ]



[低低音タイプ]



B(ブラック)



A(ブルー) Y(イエロー) R(レッド)

イヤホン補償サポート付

Bluetooth

